

谷川連峰：谷川岳・茂倉岳縦走

- ◆日程 2022年4月16日(土)～17日(日)
 ◆メンバー L：TY、SD、OY、NY、GT

横浜山の会に入会して初めてリーダーを務めました。みんなで歩ける残雪期の縦走、春合宿の飯豊連峰縦走のトレーニングを兼ねて谷川岳～土樽駅を計画しました。リーダーをやってみると天気予報や幕営地の選定、雪の状態等が気になり計画段階から緊張しました。

4月16日(土) 天候：曇

台風1号が発生しており谷川岳は曇予報のもと家を出ました。新幹線でSDさん、DTさん、OYさんと合流し上毛高原駅へ、谷川岳ロープウェイに向かうバスの途中でYNさんが合流しました。ロープウェイで天神平に到着すると曇の中、アイゼンを装着して出発しました。穴熊沢避難小屋はまだ雪に埋もれており半開きの扉から滑り込むように入って休憩しました。稜線上では時折突風に煽られ台風姿勢でしのぎながら肩の小屋を目指しました。視界がほとんどなく雨でゴーグルも曇る中、黙々と歩くと肩の小屋に到着しホッとしました。予定していた茂倉だけ避難小屋付近の幕営は早々に諦め、ごく自然に小屋泊りとなりました。小屋の中は貸し切り状態で広くて快適でした。お茶をしながらおしゃべりをして夕食をとり20時に寝ました。



(記：TY)

CT：天神平 11:30 - 穴熊沢避難小屋 12:26 - 谷川岳肩の小屋 14:26



4月17日(土) 天候：晴れ

小屋の中は暖かくぐっすり眠れました。3時半に起床し5時に小屋を出ました。昨日までの雨や曇とは打って変わって晴れて穏やかな朝でした。谷川岳～茂倉岳の稜線は大展望に恵まれ新雪を踏みしめ楽しい稜線漫步となりました。茂倉岳から土樽駅までの茂倉新道を歩くのは初めてで30mロープを念の為に用意して下りました。矢場ノ頭までは長い下山路に体力を奪われながらも順調に進みました。次第に雪が無くなり岩や土が出てきてアイゼンでは歩きにくくなりアイゼンを外しました。

木の根っこや岩や雪のミックスを歩いているときにアクシデントが起きました。左斜面の雪の上でザックが木の枝に引っ掛かり体勢を崩しやすい場所で2番目を歩いていたDTさんが滑落し助けようとした私も滑落し、DTさんを助けようとしたSDさんも滑落しました。幸い3人とも滑落したのは数メートルで怪我は無く体勢を立て直して這い上がることが出来ました。一瞬で起こる滑落に肝を冷やし山の事故は簡単に起こることを再認識しました。

再び下山の途についてものの内心動揺していたのかルートから外れてしまい300m程度トラバースを選択しました。不安定な斜面で先ほど滑落したDTさんに怖い思いをさせる事になり二次滑落の恐れもあり良くなかったと思います。大変でもルートを外した地点まで登り返すべきでした。SDさんやYNさんのアドバイスで登り返して正しいルートに戻りました。下山口でもルートから外れ高速道路のPAに降りてしまいました。至らぬ多くのことに気づかされた山行でした。メンバーの状況・状態把握を含め今後の山行に活かしたいと思います。

一緒に歩いてくれた皆さん、ありがとうございました。(記：TY)

CT：谷川岳肩の小屋 5:04 - 谷川岳 5:42 - 茂倉岳 7:32 - 矢場ノ頭 8:58 - 土樽駅 13:45

